



事前お知らせ

「第8回若者と市民の環境会議」を開催 ～多様なエコ…楽しく見て、聴いて、味わって、交流しましょう～

と き 6月9日(日) 午前10時～午後4時50分

と ころ 武蔵大学 50周年記念ホールおよび武蔵大学構内(練馬区豊玉上 1-26-1)

6月1日から30日までの環境月間にあわせて、武蔵大学において「持続可能で安全・安心なスマートシティ、エコライフを目指して」をテーマとして、「若者と市民の環境会議」が開催される。

このイベントは、未来を担う若い世代をはじめ多くの人に環境について興味をもってもらうことを目的としており、今年で8回目の開催となる。

午前の部では、同大学構内にある「ミツバチ園」での採蜜作業見学と「採れたてハチミツ」の試食が楽しめる大学構内エコツアーを実施。午後の部では、企業、大学、行政などから招かれたゲストによる環境活動の取り組みの発表を行う。途中、武蔵野音楽大学学生によるエコ音楽演奏(クラリネット四重奏)を予定しており、発表終了後には参加者の交流会や武蔵大学特産の美味しいハチミツ名品の試食も楽しめる。

入場無料／主催：環境教育支援プロジェクト・武蔵大学／後援：環境省・東京都・練馬区・(公財)練馬区環境まちづくり公社



昨年の様子



昨年の様子

●午前の部 大学構内エコツアー(午前10時～正午) ※ツアーは当日会場受け付け

大学構内には180種もの樹木があり、豊かな自然環境やエコ設備の見学のほか、大学屋上にある「ミツバチ園」での採蜜作業の見学と採れたてのハチミツをその場で試食できるエコツアーを実施。この「ミツバチ園」は、学生や地域のボランティアで構成される江古田ミツバチ・プロジェクトが3年前から巣箱を設置し、西洋ミツバチを飼育している。この武蔵大学産のハチミツは一切販売していないレアもの。(※採蜜作業見学と試食は雨天中止)

●午後の部 いま実践している環境活動と取り組みの発表(午後1時～3時20分)

企業や大学、行政での取り組みの発表を各10分ずつ行う。発表を行うのは、以下の団体である。

早稲田大学高等学院「学民公連携の環境づくりの実践」

芝浦工業大学「地球温暖化で白化するサンゴの再生に挑戦」

JA あおば「6次産業化と安全・防災コミュニティづくり」

江古田ミツバチ・プロジェクト「ミツバチによる環境・まち・人づくり」

練馬区「人と環境にやさしいグリーンシティづくり」

東京都「スマート・エネルギー都市を目指して」

環境省「地球温暖化対策のこれから」 など(※発表内容は、一部変更になることがあります。)

●意見交換・交流会

会議終了後、意見交換や参加者の交流会と武蔵大学特産ハチミツを使ったスイーツの試食も予定。

【問い合わせ】環境まちづくり事業本部 環境部 環境課 環境計画推進係 電話03-5984-4702